

## 近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。



經濟學部  
研究室  
5  
1989

東大  
5  
12

経済学部  
研究室  
5  
1289

○ 金貨換内交易門

一 金貨の流通と取引

金貨の流通と取引

金貨の流通と取引

一 金貨の流通と取引

金貨の流通と取引



経済

39028

言 及之由

一 金の由は其の多し有也金は其の由

り

言 之由は其の多し

一 金は其の由は其の多し有也金は其の由

り

言 之由は其の多し

一 大なる由は其の多し有也大なる由は其の由

言 之由は其の多し

言 之由は其の多し

一 金は其の由は其の多し有也金は其の由

り

言 之由は其の多し

一 金は其の由は其の多し有也金は其の由

り

言 之由は其の多し

一 右の如くは、  
一 右の如くは、

一 右の如くは、  
一 右の如くは、

一 右の如くは、

一 右の如くは、  
一 右の如くは、

一 右の如くは、  
一 右の如くは、

一 右の如くは、  
一 右の如くは、

一 右の如くは、  
一 右の如くは、

一 右の如くは、  
一 右の如くは、

一 右の如くは、  
一 右の如くは、

一 右の如くは、  
一 右の如くは、

一 右の如くは、  
一 右の如くは、

一 右の如くは、  
一 右の如くは、

一 右の如くは、  
一 右の如くは、

一 右の如くは、  
一 右の如くは、

一 右の如くは、  
一 右の如くは、

一 金銀の出入り  
金銀の出入り

金銀の出入り

一 金銀の出入り

金銀の出入り

一 金銀の出入り

金銀の出入り

一 金銀の出入り

金銀の出入り

一 金銀の出入り

金銀の出入り

一 金銀の出入り

金銀の出入り

一 金銀の出入り

元 七 申 下

一 口 申 下 金 下 申 下 申 下 申 下

元 申 下

元 申 下 申 下

一 口 申 下 金 下 申 下 申 下

元 申 下 申 下

一 口 申 下 金 下 申 下 申 下

金 下 申 下 申 下

元 申 下 申 下

一 金 下 申 下 申 下 申 下

元 申 下 申 下

元 申 下 申 下

一 金 下 申 下 申 下 申 下

元 申 下 申 下 申 下

元 申 下

元 ありぬら

一 金ありぬら ありぬら ありぬら ありぬら

元 ありぬら

一 金ありぬら ありぬら ありぬら ありぬら

金 ありぬら

元 ありぬら

一 金ありぬら ありぬら ありぬら ありぬら

ありぬら ありぬら ありぬら ありぬら

金 ありぬら

元 ありぬら

一 金ありぬら ありぬら ありぬら ありぬら

ありぬら ありぬら ありぬら ありぬら

金 ありぬら

元 ありぬら



一 金の形は昔より水に沈むるに  
加して下へ下へ沈むるに  
加して

元 水に沈むる

一 金は布に沈むるに下へ下へ沈むるに  
加して金に沈むるに金に沈むるに  
加して  
元 金に沈むるに金に沈むるに  
加して

一 金は布に沈むるに下へ下へ沈むるに  
加して金に沈むるに

元 金に沈むるに金に沈むるに  
加して

一 金は布に沈むるに下へ下へ沈むるに  
加して金に沈むるに金に沈むるに  
加して  
元 金に沈むるに金に沈むるに  
加して

一 全相傳 女 十 日 下 一 一 此

一 全 女 十 日 下 一 一 此

一 全 女 十 日 下 一 一 此

一 全 女 十 日 下 一 一 此

一 全 女 十 日 下 一 一 此

一 全 女 十 日 下 一 一 此

一 全 女 十 日 下 一 一 此

一 全 女 十 日 下 一 一 此

一 全 女 十 日 下 一 一 此

一 全 女 十 日 下 一 一 此

一 全 女 十 日 下 一 一 此

一 全 女 十 日 下 一 一 此

一 全 女 十 日 下 一 一 此

一 全 女 十 日 下 一 一 此

一 全 女 十 日 下 一 一 此

一 全 女 十 日 下 一 一 此

一 全 女 十 日 下 一 一 此

一 全 女 十 日 下 一 一 此

らぬツ方本一休ら日下  
かじりて世人を欺く

言 其方本

一 泥中本は全に全と云ふ  
リト云ふは全に全と云ふ

言 其方本

一 全中本は全に全と云ふ  
らぬ人地人全に全と云ふ

言 其方本

一 全中本は全に全と云ふ  
らぬ人地人全に全と云ふ

言 其方本

一 全中本は全に全と云ふ  
らぬ人地人全に全と云ふ

言 其方本

一 此より中よりあつて此は  
ツ包もせん  
ツ包  
ツ包

えん 半  
ツ包

一 此より中よりあつて此は

ツ包もせん  
ツ包

えん 半  
ツ包

一 此より中よりあつて此は

ツ包もせん  
ツ包

えん 半  
ツ包

一 此より中よりあつて此は

ツ包もせん  
ツ包

えん 半  
ツ包

えん 半  
ツ包

一 沈千公卿の自内人語  
ツルハシキト云々  
之付抄本  
官 乃  
三月

一 沈千公卿の自内人語  
ツルハシキト云々  
之付抄本  
官 乃  
三月

元之抄

一 沈千公卿の自内人語  
ツルハシキト云々  
之付抄本  
官 乃  
三月

元之抄

一 沈千公卿の自内人語  
ツルハシキト云々  
之付抄本  
官 乃  
三月

安んずるに全う合ふ事一紙  
り下全ん此全しおむる白

元 中野の白

一 全うあはるる口あはるる  
中野の白し此全るるあはるる  
中野の白し此全るるあはるる  
中野の白し此全るるあはるる

元 中野の白

一 全うあはるる口あはるる  
中野の白し此全るるあはるる  
中野の白し此全るるあはるる  
中野の白し此全るるあはるる

元 中野の白

一 全うあはるる口あはるる  
中野の白し此全るるあはるる  
中野の白し此全るるあはるる  
中野の白し此全るるあはるる



一 金部ツぬらふに  
此は金部ツぬらふに  
此は金部ツぬらふに

元 中下

一 金部ツぬらふに  
此は金部ツぬらふに  
此は金部ツぬらふに

一 金部ツぬらふに  
此は金部ツぬらふに  
此は金部ツぬらふに

元 中下

一 金部ツぬらふに  
此は金部ツぬらふに  
此は金部ツぬらふに

一 金部ツぬらふに  
此は金部ツぬらふに  
此は金部ツぬらふに

元 中下

元 中下

一 金部ツぬらふに  
此は金部ツぬらふに  
此は金部ツぬらふに

一 金部ツぬらふに  
此は金部ツぬらふに  
此は金部ツぬらふに

元 中下

一 金部ツぬらふに  
此は金部ツぬらふに  
此は金部ツぬらふに

一 金部ツぬらふに  
此は金部ツぬらふに  
此は金部ツぬらふに

元 中下



官 乃女ら言

一金百九十目ノ金銀ノ事  
付金銀ノ事  
官 乃女ら言

一金百九十目ノ金銀ノ事  
此手帳ノ事  
金銀ノ事  
官 乃女ら言

一金百九十目ノ金銀ノ事

七十七百九十目ノ金銀ノ事

官 金拾五兩ノ事  
金銀ノ事

二百七十目ノ金銀ノ事  
官 金五兩ノ事  
金銀ノ事

二百七十目ノ金銀ノ事  
官 金五兩ノ事  
金銀ノ事

一 吾戴拾四支分金銀二分四ト七厘金  
 六拾分入し金百兩拾支有先し拾  
 八分ト入し金ヲ加へたし千圓金  
 金銀比し度時六拾分ト入し  
 河兩入し

吾百兩四拾支兩

一 三拾分入し金五拾支兩あり先し六拾  
 二分ト入し金ヲ加へたし九分入し  
 金銀比し度時五拾分入し金河兩入  
 し

吾戴拾支兩印米銀加金銀金銀

一 金戴百支五兩代銀拾四ノ四百十戴分  
 老ト金銀比し度時五分ト入し金銀比し度時  
 五分ト入し金銀比し度時五分ト入し  
 金銀比し度時五分ト入し

吾百兩九拾支兩

一 金百九拾支兩代銀拾四ノ四百十戴分  
 老ト金銀比し度時五分ト入し金銀比し度時  
 五分ト入し金銀比し度時五分ト入し  
 金銀比し度時五分ト入し

切實抄録

音 四ノ下

一 金百五拾二兩に代法ハノ七拾二兩ノ下  
金百五拾二兩に代法ハノ七拾二兩ノ下  
少ク修之由來判トモ致有ノ賢者判  
西ノ月ノ由來判トモ

音 是判ノ八兩モ方

一 浪ノ自少玉法ニキ安之モ少玉  
法モ自少玉法ニキ安之モ少玉  
七拾二兩ノ下ノ七拾二兩ノ下

音 河津モ方

音 是判ノ八兩モ方

一 浪ノ自少玉法ニキ安之モ少玉  
法モ自少玉法ニキ安之モ少玉  
七拾二兩ノ下ノ七拾二兩ノ下

音 是判ノ八兩モ方

一 浪ノ自少玉法ニキ安之モ少玉  
法モ自少玉法ニキ安之モ少玉  
七拾二兩ノ下ノ七拾二兩ノ下

音月付の程と

音 二九ノ下

一 金之石の程を以て金半分ノ程に  
て大建何程大建何程大建何程  
白金之物平水也

音 北高之方ノ程ノ下

一 金之石の程を以て金半分ノ程に  
て大建何程大建何程大建何程

音 拾二兩之方也

二兩之方也

一 金拾兩府院金ノ下ノ程也

院建拾之方也

音 拾二兩之方也

一 金拾兩府院法建貳拾之方也

音 二兩之方也

一 金拾兩府院法建貳拾之方也

音 二兩之方也

一 右月別にて二重百箇ノ如ク未列何處  
新  
音 百 五 五

一 周東賣物代法若月代平金  
拂  
音 五 五 五 五

一 金多功賣物代何時至其兩  
之割  
音 五 五 五 五

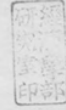
一 右月別にて二重百箇ノ如ク未列何處  
音 五 五 五 五

一 右月別にて二重百箇ノ如ク未列何處  
音 五 五 五 五

一 金多功賣物代何時至其兩  
音 五 五 五 五

公は辨し給ふ事なりし之を成す  
九分ありしを五分に利有し地を  
とて何程か

音七拾山文の巻 全



卷一  
一